駒澤大學
茨城県同窓会報
常陸
No.20
KOMAZAWA UNIVERSITY AND KOMAZAWA JUNIOR COLLEGE
2026年9月1日発行

ごあいさつ

駒澤大学同窓会茨城県支部
支部長　根本洋治

駒澤大学ご卒業の茨城県在住の同窓の皆様におかれましては、日頃よりお仕事ご家庭と公私にわたりご活躍のこととと、心よりお慶び申し上げます。

令和7年10月19日土浦市の第14回駒澤大学茨城県支部総会支部で野村光造前支部長はじめ役員の皆様のご推挙により、慎んで茨城県同窓会支部長をお引き受けすることとなりました。

茨城県支部は平成9年（1997年）に発足され今年で29年を迎えました。設立当時の県内卒業生は約3300名でしたが、現在は5391名となっております。

これまで同窓会活動を支えて頂きました会員の皆様、役員の皆様に、あらためまして感謝申し上げます。また駒澤大学同窓会本部の多大なるご支援に心より御礼申し上げます。

支部活動は、二年に一度の総会を中心に、各地区での懇親会、4月に行われるかすみがうらマラソンでの駒澤大学陸上競技部の激励会など随時自発的に開催しております。

このたび女性の会（女性OBの集い）の代表に杉浦啓子さん（昭和43年 短大国文科卒）より黒澤悦子さん（昭和60年法学部卒 副支部長兼務）にお願いすることになりました。

次回の総会は、これまでの節目として設立30年、第15回記念総会として水戸市で盛大にお祝いをしたいと思っております。

これからも、駒澤大学卒業のご縁を大切にして、母校の興隆を願い、現役学生への応援、県内卒業生の懇親と交流の場としての広がり目指して行きたいと思っております。

卒業生の皆様におかれまして、お知り合いのOBのご友人とお誘いあわせの上、是非とも支部会員にご加入いただき、共に支部活動にご参加いただきますようにお願い申し上げます。

最後に皆様とご家族様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第14回同窓会支部総会の報告

令和7年10月19日、土浦市にてローブカスミガウラにて駒澤大学同窓会本部 山本泰之様、群馬県支部長 高橋泰誌様にご来賓頂まして第14回支部総会が行われました。記念講演会では、駒澤大学の東京オリンピックメダリスト田中亮明選手を育てた駒澤大学ボクシング部監督 小山田雄二様の「あきらめない心と感謝を持って」と懇親会では黒木悦子様のシャンソントークショーでとても楽しい盛会となりました。

支部長が野村光造さんから根本洋治支部長へと新体制に引継がれました。野村さんには7年間の長きに渡り、また新型コロナ感染症の大変な時期に舵取り本当にありがとうございました。尚、第14回支部総会の詳細は駒澤大学茨城県支部のホームページに当日の多数の写真とともに掲載されております。是非ご覧下さいますようお願い申し上げます。

新任副支部長のご紹介

「縁」～出会いに感謝～

茨城県支部女性の会代表
昭和60年　法学部卒
黒澤　悦子

今から九年前のある日、一通の葉書が届きました。茨城県同窓会女性部会から「ランチ会」開催のお知らせでした。

行こうか行かないか迷いましたが、同窓の多くの方々と知り合いになる機会であると思い参加することにしました。ドキドキしながら、土浦市にある「和食つじ山」というかやぶき屋根の落ち着いた佇まいのお店に行くと八名の女性の方がいらっしゃいました。優しく声を掛けていただいたお陰で、緊張もほぐれ、あっという間に時間が過ぎたのを覚えています。美味しい料理をいただきながら、多方面に活躍されている方々からお話を聞くのは、とても楽しく、そして刺激があり、人としての幅が少し広がったように思えました。

このランチ会が、私の茨城県同窓会のスタートになりました。それ以降、地元龍ケ崎市で行われた中畑清トークショーに行ったり支部総会や懇親会に参加したりするようになりました。私は、たくさんの先輩方や後輩達と出会ったことで、多様な価値観に触れ、自分の成長につながっていると実感しています。また、会話等から大学時代を思い出すことが度々あり私にとってかけがえのない同窓会支部になっています。これからもこの縁を大切にしていきたいと思います。

現在、女性会員の方の参加が少ないのが課題です。誰でも気軽に参加できるような楽しい活動を計画し、親睦を深めたいと考えています。多くの方の参加をお待ちしています。

感謝と激励の集い

昭和49年　経済学部卒
田角　敏雄

平成19年4月の「かすみがうらマラソン前夜祭」に駒澤大学陸上部の大八木監督、選手二名をを招待し激励会を初めて開催しました。

初めてにも拘わらず茨城県同窓会の会員20名が集まり監督と選手を招待したせいかマラソン当日には藤井選手が見事10マイルの部で優勝を飾りました。翌年平成20年4月からは女子マラソン選手で活躍した有森裕子さんが激励会に出席することになり同窓会参加者が多数出席する運びとなりました。

しかしながら２０２０年にコロナ感染症の異常発生により24年まで激励会も開催することが出来ませんでした。

しかし２０２５年4月にコロナが下火になり激励会は再開し今年も「マラソン」前夜に同窓会茨城県支部主催により駒澤陸上部コーチと選手と有森裕子さんを迎え楽しく談笑を交わし夜のひと時を過ごすことが出来ました。今後は毎年激励会を催しますので会員の皆様ぜひご参集下さい。

同窓会茨城支部県西地区懇親会

昭和58年　経営学部卒
楠田　和仁

去る5月23日（土）、古河市内のかつ太郎総本店総和店において、県西地区懇親会を開催いたしました。

当日はゲストとして、中畑清氏、藤井堯氏、若杉健二氏、貴島勝司氏をお迎えしたほか、県支部から根本支部長、高崎副支部長、塚本副支部長、野村前県支部長、神原事務局長にもご参加いただきました。

古河市や境町を中心とした同窓会会員が集い、総勢25名での懇親会となりました。久しぶりに参加された先輩方や、今回初めて交流する後輩の皆さんとの親睦が深まり、世代を超えた交流の輪を広げることができました。

ゲストの皆様は、早朝より境町で開催された女子中学生ソフトボール大会に参加された後のお疲れの中ご出席くださいました。特に中畑氏には得意の歌もご披露いただき、会場は大いに盛り上がりました。

私自身、副支部長就任後初めてのイベント運営となりましたが、多くの先輩方のご協力により無事開催することができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。今後もこのような機会を大切にしながら、同窓会県西地区のさらなる活性化を目指して活動してまいります。

駒澤大学同窓会茨城県支部副支部長就任にあたって

昭和45年　文学部卒
坂入　誠

この度は「常陸20号」発刊おめでとうございます。更に次回は設立30周年を迎え第15回記念総会が開催されますこと心からお喜び申し上げます。設立当初よりこの会の運営には歴代の会長さんはじめ長年に渡り事務を引き続いていただいた同窓会有志の皆様方に感謝申し上げます。

この30年間総会を始め各地区で開催されたイベントには駒澤ならではのあたたかい交流の場がもたれ会の組織作りができました。

境町では同窓会設立以前から中畑清氏による少年野球大会が開催

され地域興しと共に駒澤大学同窓会発会の機会になったことは事実であります。

更に土浦市で毎年開催されております「かすみがうらマラソン」では長年事務局を担当されてました飯山孝之元支部長のお骨折りによる前夜祭を開催し、大八木弘明総監督率いる箱根駅伝出場選手達の激励会、毎回ボランティアで海外招待選手を率いて日体大出身の有森裕子様も参加され「同じ世田谷連合」などと和気藹々のなか語らい、時にはお笑い芸人の方々も参加され賑やかな良き思い出となる交流の場を作っていただきました。

皆様方のご協力の下、更なる会の発展をご期待申し上げます。

同窓会に参加して

昭和61年　経済学部卒
風間　正志

今回、副支部長となりました風間と申します。

私は昭和57年4月に経済学部商学科に入学し、昭和61年3月に卒業しました。

卒業後牛久市役所に入庁し、昨年の3月に定年を迎えましたが、現在も再任用職員として牛久市役所に勤務しています。

同窓会との関わりは、支部長である根本さんからお誘いを受けて、牛久シャトーで総会を開催した時に参加させていただいたことが始まりです。

その後、根本さんが牛久市長に就任されたときに、牛久市役所職員に駒澤大学のOBが6人いました。根本さんを筆頭にOB会を結成し、意見交換会（実際は飲み会）を頻繁に行うようになり、あわせて同窓会にも関わってきました。

今回、根本さんが支部長になるなら、みんなでお手伝いしましょうとなり、私には副支部長の依頼があり、快く引き受けたところです。

昨年の3月に役員会に参加した時に、鳳林院の竹内さんとの出会いがあり、以前より座禅をやってみたいと思っていたので、少々酔いながら竹内さんとの会話も盛り上がり、連絡先も交換して座禅会に参加することになりました。毎回ではないですが、月1回鳳林院へ出向き座禅会に参加しています。座禅の前には竹内さんのとてもためになる講話があり、座禅とあわせて毎回楽しみにしています。

同窓会で出会った皆さんはすばらしい方ばかりで、早いもので大学を卒業して約40年が経ちますが、心より駒澤大学でよかったと思います。

今後ともよろしくお願いします。

卒業生のご紹介

会報「常陸」に向けて

昭和60年度　経営学部卒
株式会社つかもと 代表取締役　塚本　裕

1985年3月の卒業以来、菓子製造業に携わり、現在は甘納豆製造会社の経営を担っています。伝統的な製法を守りながら、一つひとつ手造りで丁寧に仕上げることを大切にし、お客様に喜んでいただける商品づくりに日々取り組んでいます。

学生時代はテニスサークルに所属し、仲間とともに汗を流しながら充実した日々を過ごしました。当時培われた仲間との絆や、目標に向かって地道に努力する姿勢は、社会人となった今でも私の大きな財産となっています。

経営者として常に心掛けているのは、派手さを求めるのではなく、目の前の仕事に愚直に取り組むことです。長年受け継がれてきた技術を大切にしながら、社員と力を合わせ、一歩一歩着実に歩んできました。コロナ禍では、これまで経験したことのない厳しい状況に直面しました。しかし、社員や取引先の皆さま、そして長年支えてくださるお客様のおかげで、その危機を乗り越えることができました。この経験を通じて、人とのつながりの大切さと、困難な時こそ前を向いて挑戦し続けることの重要性を改めて実感しています。

これからも初心を忘れず、地域社会に必要とされる企業であり続けられるよう努力を重ねてまいります。母校のさらなる発展と、在学生ならびに卒業生の皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(株)つかもと 茨城県龍ケ崎市白羽4-5-7
https://ama710.com/

茨城県立歴史館 内桶博仁様 インタビュー

記　神原　俊行

令和8年度の「茨城県立歴史館祭り」の6月6日（土）のイベントで多数の来場者の中、昭和63年経営学部卒で現在活躍中の内桶博仁様（茨城県立歴史館副館長）を表敬訪問して楽しくお話を聞く機会に恵まれました。

内桶さんは経営学部、小野寺ゼミで有価証券分析を学びサークルでは風俗研究会で活動し、学園祭で焼きそばの出店とか昼食は当時学内にありました軽食店の「パオのミートソース」にとてもお世話になったそうです。

卒業後、茨城県庁で教育関係の仕事に携わり二年前から現職にあるそうです。

次回の30周年を記念して第20回支部総会が水戸市で開催を予定しているので、この機会に茨城県の歴史を知ることに意義があり歴史館を訪ねることが近道と思いました。最近の傾向として、50歳以降の男性の方の来場が多く、また、刀剣女子といわれる日本刀や刀剣にまつわる歴史、文化を愛する女性ファンも多いそうです。一橋徳川家記念室もあり、常設展も盛りだくさんで、縄文土器など古代から水戸学を中心とした幕末、明治期、昭和の混乱期の様子など充実した展示を個人的にも、とても興味深く見学して参りました。野外施設も「旧水海道小学校本館（県指定文化財）の素敵な建物あり、秋には庭園の銀杏の紅葉が美しくとても有名です。

茨城県の博物館の中で、52年間と一番古い歴史を持ち、国宝、重要文化財も多数保存しているそうです。機会がありましたら「古きを訪ね新しきを知る」の格言通り、茨城県歴史博物館は歴史のお勧めのスポットでした。

（左から）内桶博仁　神原俊行

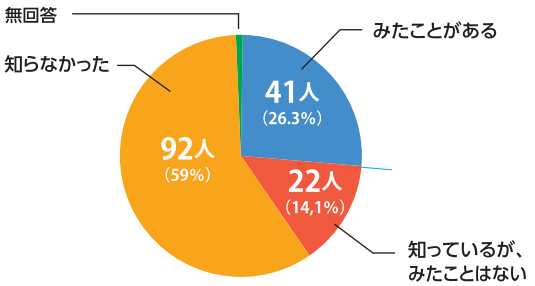
（野外施設 旧水海道小学校本館）
茨城県立歴史館 水戸市緑町 2-1-15

「情報発信に関するアンケート」概要レポート

アンケート回答者156人
※2025年秋に会報誌と同封したアンケートです。

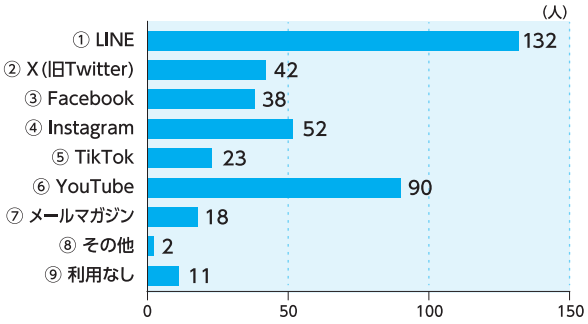
Q1 茨城県支部のホームページをご覧になったことはありますか。(1つだけ)

「知らなかった」が半数以上となりました。アンケート用のURL、会報誌のQRコードからホームページをご覧いただけましたら嬉しいです!



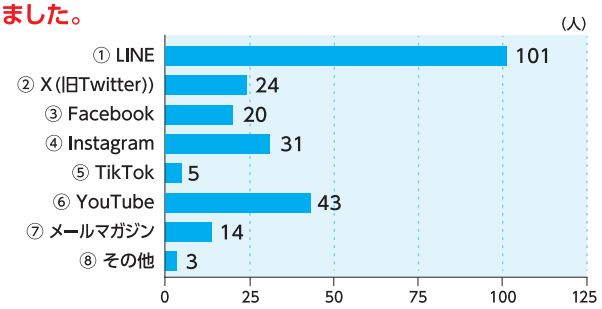
Q2 現在、利用しているものをすべて教えてください。(いくつでも)

「①LINE」利用者が最も多くなりました。また「⑤TikTok」「⑥YouTube」など動画をみている方も多いようです。



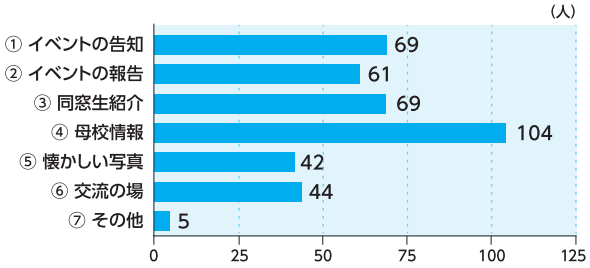
Q3 会報誌「常陸」やホームページなどで情報を発信しています。今後、茨城県支部がSNSで情報を発信した場合、利用したいものをすべて教えてください。

質問2で回答が多かった「①LINE」が圧倒的な多さとなりました。



Q4 茨城県支部がSNSで情報発信した場合、どのような情報に関心がありますか?(いくつでも)

④母校の最新情報」が最も多く、次いで「①イベント告知」「③同窓生紹介」となります。今回の会報では、「②イベント報告」「③同窓生紹介記事」を掲載しております!



Q5 女性会員向けのイベントがありましたら、参加したいと思われますか。(1つだけ)

「③イベントの内容により参加したい」が半数となりました。参加したくなるようなイベントを開催できるよう企画を練りたいと思います。何かよい案がありましたらご要望ください!

①ぜひ参加したい	1	④参加したくない	11
②参加したい	3	⑤その他	1
③イベントの内容により参加したい	17	無回答	3

■事務局からのご案内

設立30周年 第15回 総会記念総会に向かって

今回の発刊の会報「常陸」も記念すべき20号となりました。これまで記事を掲載頂きまして、会報を支えてくれましたOBの皆様、心から感謝申し上げます。駒澤大学茨城県支部では、ホームページの充実と情報発信を目指しております。

改めまして、ホームページの沿革にデータとして掲載されている会報を読んでみますと第一回設立総会が土浦市で250名の会員が集まり全国で26番目となり、手作りボランティア精神で協力しあい茨城県支部を作り上げました。

初代の事務局長、南波哲龍様の会報創刊号の中で「創業は易く、守勢は難し」どんな時でも、方向を見失うことなく、やや漂流する事があっても「同窓の和」と言う航路を継承発展させ会員諸兄姉の積極的なご意見と参加をお願いしたい。とのお言葉や会報常陸10号の竹内昌信、支部長の「小さな火を大切に」のご挨拶にありました文章の中で、常に「小さい火に人は集まるが、大きい火は人を遠ざける」派手な活動より地味な行動を心がけるとのお言葉を頂きました。これまでには、大震災やコロナ禍など大変な社会情勢もございました。

未来に渡って、これからも母校の興隆を願い、OBのご縁を大切に地域に根差した暖かい交流会をめざしたいと思っております。

各地区(県央/県北/県南/県西/鹿行)での小さな集まりが二年に一度の総会に繋がる運営を目指しています。

既に、来年の令和9年に日程は未定ですが、設立30周年の第15回記念総会を県央地区の水戸市での企画をしています。ご提案ご意見などありましたら、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、日頃から忙しい日常生活の中で少しでも楽しい同窓会になればと思っております。更なる活力ある茨城県支部を築く所存でございます。どうぞ会員皆様には、お力添えを宜しくお願い申し上げます。

昭和54年 経営学部卒
事務局長 神原 俊行

会費納入のお願い

[支部会費]
2年間 男性5,000円・女性3,000円
[振 込 先]
ゆうちょ銀行振替口座 0120-2-669131
駒澤大学茨城県同窓会

お問い合わせ先

■支部事務局
神原俊行 TEL 080-5439-4727
FAX 0297-66-7514

■インターネット申込
info@komazawa-u-ibaraki.jp

■茨城支部
ホームページ

https://komazawa-u-ibaraki.jp